

平成21年度 第3回 神林地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成21年11月19日（木）午後1時30分～午後3時50分
2. 開催場所 神林支所 3階第4、5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、岩浅孝、石田フミ、櫻井廣正、小田美千子、近巖、三浦公平、小田美穂子、小池知恵蔵、横山一巳
4. 欠席委員 山崎秀雄、須貝慎一郎
5. 出席職員 田村神林支所長  
(事務局) 神林支所地域振興課；山田課長代理、田村主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 第3回神林地区地域審議会次第

日 時：平成21年11月19日13:30～15:50

会 場：神林支所 3階第4・5会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 協議事項

①意見書の取りまとめについて

4 その他

①第4回の開催日程について

5 閉 会

## 会 議 経 過

### 1. 開会

事務局；定刻になりましたので、第3回神林地区地域審議会を開催させていただきます。

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。本日、他の用務のため須貝委員と山崎委員から欠席の連絡を受けております。最初に会長の挨拶をお願いします。

### 2. 会長挨拶

会 長；この会議も3回目を迎えました。テーマとして自分達の住んでいる地域をどのようにして守っていったらいいか、また、協働のまちづくりにどのようなかたちで携わっていくのかを考えていきたいと思えます。この一年間討論して来ましたが、討論されていない点がありましたらみなさんから討論、協議いただきまして第4回で意見書というかたちで市長に上げていきたいと考えています。今日は2回目までの協議内容とまだ足りないところのご意見をみなさんから出していただき、方向性を探りたいと思えます。4回目では意見書のたたき台をみなさんにご提示し、協議いただきたくて考えております。委員のみなさんから忌憚のないご意見をお聞かせ頂いて意見書として提出していきたいと考えております。今日もご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。よろしくお願ひします。

### 3. 議事

#### (1) 協議事項

##### ①意見書の取りまとめについて

(配布資料について事務局から説明)

会 長；全市に及ぶような大きなものについては別にするというのでしょうか。

事務局；テーマが自分の住んでいるところということで意見書をまとめようとしていますので、大きな総合計画みたいな意見書になりかねないと思ひまして、自分の住んでいるところをどのようにして守っていくのか。そして協働のまちづくりにはどうのように関わっていくのかということで説明させていただきました。例えば、この地域の姿を見て、各地域・集落では何らかの課題があると思ひます。それを一つでも解決していこうという時に、協働のまちづくりという新しい考え、手法をどういうふうを活用していったらいいかなどについて、意見書としてまとめたいと思ひます。

会 長；自分の住んでいるところというのは地区を指すということで理解していいのでしょうか。

事務局；神林地区地域審議会ですので。この地域ということでお願いします。

会 長；自分の住んでいるところをどのようにして守っていくかということがテーマの一つですので、委員のみなさんが考えておられる地域の窮状を出してもらって、その中からこの地域の問題点を拾い上げて意見書としてまとめっていくかたちになるかと思ひます

委 員；他地区の報告書を見るとあまりにも地区に頼ってはうまくないのでと言われて

います。地区住民の生命と財産を守るにはどうしたらいいのか。以前この会議で出た石川改修について別問題だとの回答でありましたが、この地区をどのようにするかということを考えるのであれば、危険な川もある訳ですから、私たちが一生懸命アピールしたならば、一日も早く改修できるのであればそれも一つの責務ではないかと思えます。協働のまちづくりの方向と違うかもしれませんが、実現の方向性を自分達も探っていくべきではと考えています。

会 長；どんなに小さなことを取り上げて行ってもすべてお金のかかることになってしまいます。市の予算がないと実現できないということにされると非常に話しにくいところが出てくるような気がします。お金のかからないことで自分達ができることであればもうすでにやっている。どうしてもやらなければならないことや大きい問題は市全体で考えなければならないことが出てくると思えます。委員から話のありました石川改修の進捗状況についても、予算を多く付けてもらって早く工事を進めてほしいということも一つの意見としてもいいのではないのでしょうか。

委 員；嫁婿対策は、小さな地域で情報発信して集まってもらうよりも、もっと広い範囲で出会いの場を作った方がより効果的だと思います。この地域で必要なのは嫁婿対策も特に必要ですが、困っているが自分達の地域だけではどうにも出来ない、効果が上がらないというような場合の解決策として、もっと大きい範囲で考えていくことになると思います。山北地区では農業体験の交流を通じて出会いの場を作っているとのことですが、もっと村上市全体に広げてもらわないと、なかなか効果が上がらないと思います。神林地区だけの懸案だが神林地区だけでは出来ないような事の要望は駄目でしょうか。

事務局；要望として具体的に石川改修と次世代対策の嫁婿対策というのが出た訳ですが、やはり地域を存続していくには次世代がいないと存続出来ない訳ですので、そのような対策をどのようにして意見書として入れていくかというようなことを討議していただければよろしいかと思えます。

委 員；群馬県の方で「赤い糸プロジェクト」という名称でやっているみたいですが、同じ名前でなくても、もっと柔らかい感じで出会いの場を作れるようなものを市でも考えてほしいと思います。各地域につながるのだと思いますが、そのように要望することも可能かと思えます。

委 員；この地域だけでは、いくら考えても困っているというだけで、具体策を考え出すには難しいので、広い対応策をお願いしていくことも地域を守っていくということではないでしょうか。

事務局；各集落では具体的にどのような実情があるのかということを出して頂いて、それがどのように協働のまちづくりなどに関わって行けるのか。そこには予算が必要であれば、予算が必要であると盛り込まなければならないし、その中で委員がおっしゃったように協働のまちづくりも大切だが、石川改修という大きな事業はどのようにして意見書の中に文言として入れていったらいいのか。そのような実情を一つひとつ挙げて行ければ、そこから共通点が見えてきて意見書としてまとめられるのではということで、大きく2つに分けると、全市的に取り組みが必要な意見と地域で対応が出来る意見が今までの会議ではあったということで申し上げ

ました。

委員；事務局からこういうことは全市的な対応が必要な事だし、こういうことは地域で取り組み出来ることだと言われると、限定されてきて何を考えればいいのか。小さなもの小さなものへと物事を選んでいくことになってしまうので、例えば嫁婿対策などは地域、地域で広く情報を発信しながらやってもらいたいというような意見については、どのように意見書に盛り込んでいったらいいのかということも考慮すべきではないでしょうか。

事務局；協働のまちづくりというのは今スタートしようとしている訳で、実際、具体的にどういふものか目に見えていない状態です。来年度22年度に本庁に自治振興室が出来ます。各支所には具体的に23年度から出来ます。そこから正式にスタートする訳ですが、協働のまちづくりを神林地区ではどういふふうにしたらいいのかというところから出発しなければならないと思っています。神林の場合は地域審議会からこういう意見が出て、協働のまちづくりで一緒に進めようじゃないかというような提言を出していただければいいのではと思っています。具体的に申し上げますと委員がおっしゃいました嫁婿対策。これも集落単位になるのか神林地区単位になるのか、その辺は別の話ですけど、それを協働のまちづくりと一緒にやっ行ってこうとか、ごみの問題も神林は村上市の中でもごみの少ないところなんですよというところをアピールしましょうとか、基幹産業である農業の後継者は不足しているから協働のまちづくりでこういったことを進めていった方がいいんじゃないかとか、そういう感じで考えていただければいいのではないかと思います。みなさんから出して頂いた意見を神林審議会の意見としてこういうふうに進めたいというものを十も二十もではなく、とりあえず今年は何個かくらいをピックアップして出して、審議会は毎年続く訳ですので来年は別の方法でいきましょうという場合もよろしい訳ですので、そんな感覚で進めていった方がいいのではと思っています。協働のまちづくりのために神林はこういうふうに進めますよというような大きな意見として出していただければよろしいかと思います。

委員；孫が村上来ても働くところがなく新発田で働いていますが、第1回目の会議で出た企業誘致を考えた定住できるまちづくりとか、この辺に勤めたいが最低限新発田あたりまで行かなければ駄目だという若い人の意見もあります。神林の工業団地には一つ大勢勤めている会社がありますが、他に来るような話はあるのでしょうか。また、嫁婿も自分の住んでいる集落では、家の後継者が決まっているところとそうでないところとに分かれてきています。

事務局；高速道路が出来るとどうこうという話はありませんけど、今のところはないです。市で持っている用地が二箇所あります。

委員；長く区長をさせてもらっていると、なんとか区長の力でいい人と結びつけてくれないかという話をもらう。自分の集落ではないところでは徹底してない。あるところは決まっていて、集落で何かをやろうとするとそういうところは年寄りなので出てこない。後継者がいるところは何にでも出てくれる。このように集落活動への参加に不揃いが出てきています。また、これは勤め先が近いか遠いかということでも表れます。

委員；区長という経験はないのですが、各集落と行政との関わりというのは区長が集落の代表として区長会に、区長会から行政にと繋がっていくものだと思いますが、各集落の問題点を洗い出しながらどう言ったつながりを持って自分達の地区を良くしていくのかという役割もあると思います。区長会でこう言った話が出るのでしょうか。出ないのであれば、対策として多数へ意見を広げるやり方というのでもいいのではないのでしょうか。

委員；区長会ではその辺の話はしていません。していくべきかもしれません。

委員；出来たら区長会の方で進めて行って、先に繋げて行けるようにしてほしいと思います。

事務局；今日の午前中に区長の報酬について会長が集まって話し合いがされました。感覚的には一市になったのだから報酬等も一緒にしましようということで進めているところですが、区長の仕事と嘱託員の仕事、嘱託員というのは行政からお願いする仕事ですが、それを分けましようということで進めています、区長の仕事はどんなことがあるのかというと集落によって全然違う場合があります。委員がおっしゃったことを区長が集まってああしましよう、こうしましようと言っても出来るかどうかは別にして、今の状態ですとなかなか大変なのかなという気がしています。行政からのお願いばかりで実際、集落に入ると大変だと思います。一つの方法としてこの審議会では神林の方向性を協働のまちづくりを絡めてこういうふうになったらどうかと話し合っただけの方が、むしろ具体的にこれとこれというものが出てくるかもしれませんが、大雑把なものを作っていないと進まないような気はしています。

会長；協働のまちづくりというのは、私の理解では現在もある事業でその輪を広げていって協働のまちづくりの事業の一つに取り込んでいってしまうということも可能だと思っていますが、今改めてこれは協働のまちづくり事業だと考え出すのか、提示されたものを協議してこれをやりましようというかたちで取り組むのでしょうか。

事務局；既存のものを含めてやらないと新たに23年度からやりましようというのは大変だと思います。例えば山北の嫁婿対策、百姓やってみ隊とかかたちにあるものであればそっくり引き継がれるでしょうけど、残念ながら神林には目玉になるようなものが今のところないものですから、しかしながら各集落等ではたたき台となるようなものを行っている、その辺を進めていった方がスムーズなのかなという気がしています。22年度から本庁の方で自治振興室というのが出来ますけど、そこで色々議論してたたき台を作って地域に案を出すと思いますが、来年一杯をかけて神林地区は地域審議会のみなさんの意見を取り込んでいく方向で進めればと考えています。

委員；ふれあいトークで中学生はどう言った話をしていましたか。

事務局；神納中学校、平林中学校から各11名の代表者に来て頂いて市長とのふれあいトークということで約1時間半行いました。その内容は今の村上市をどのように変えたいのかとか、不景気だから村上市はどのような状態なのか教えてくださいとか、村上市を発展させるためにはどのようなことをするのですかなど村上市の将来的

なこと、それから過疎化についてはどんな対策を考えているのか、日沿道を造ることによってどんなメリット、デメリットがあるのか、具体的なところだと平林中学校と神納中学校の統合はいつですかとか個々の意見はこれくらいですが、大きなテーマとして、自分が考える10年後の村上市の姿ということで市長に対して意見を述べました。村上市の将来的なことに対しての意見が多かったようです。

委員；中学生も将来はどうなるかと思っているように私どもも同じように思っていますし、いかに若い世代のためにしてあげられるかということになるかと思えます。他の委員からもありましたが、嫁婿対策もしかり、この地区だけで出来ないのであれば他の地区も抱き込んで門戸を広げながら、私どもも提案しながらしてはどうですか。

会長；確かに嫁婿対策ということで話が上がっていますが、委員が言われるように嫁婿対策を考えることによって人口の減少と少子化の問題にもつながる話ですし、さらに地域として一番悩んでいる世代交代がうまく行っていない地域と、うまく行っている地域では地域行事への参加が違うという委員の話もありましたが、嫁婿対策が全てそう言った方向へ行ってしまう。みんなそこへ繋がってしまうということがありますので、当審議会の意見として出してもいいのではないのでしょうか。

委員；嫁婿対策も大事なことですが、やはり働く場と場所があってこそ嫁婿も発展するのではないのでしょうか。働く場と場所があれば、みなさんが集まってその中で社内恋愛やサークルなども出来ると思います。働く場と場所がないような市ではうまくいかないのではないのでしょうか。自分の集落でも子どもが東京や新潟市に住んでいる状況で、こちらに働くところがあれば帰ってくると思います。やはり企業誘致などがあって、そこに嫁婿対策が付いていくのではないのでしょうか。仕事をする場と場所を提供していかないと人が集まっていかないのではないのでしょうか。

会長；全然関連のない問題ではなくすべて繋がっています。この地域の問題点だということにははっきりしている訳です。

委員；委員が言われるように結びつけてうまく行けばいいのですが、そこまでいくにはいつになるか分からないので、せめてこの地域に残っている人たちを応援できる方法はないものかと考えています。

会長；新しいことに携わる人たちだけを優遇するのではなくて、今大変な思いをして頑張っている人たちを手助けして、夢や希望を持てるようなかたちで応援していくのが一番いいのではないかと思います。2、3年補助金を出してその期間で好きなことをやってくれと定着するのを狙っているのかもしれませんが、今まで汗水流して大変な思いで地域を守ってきた人たちにはどうするのか。そう言った人たちがやめてしまえば何もならない。既存の企業などを保護してこれ以上減らないようにしてもらおうということも嫁婿対策に通じることではないのでしょうか。嫁婿対策については企業誘致の事も絡んできましたし、やはり地域審議会の一つのテーマとして取り上げてもいいのではないかと思います。人口の減少、少子化、経済の低迷が集落の維持にどのような影響を与えるのでしょうかということですが、これについてみなさんのご意見をお願いします。この地域では行事やイベント

をやる時に若い人たちにも計画段階から参加させているところは多いのでしょうか。若い人たちを参画させるようなものが必要ではないでしょうか。

委員；自分の集落でも以前は、盆踊りや獅子舞などをやっていた賑わっていましたが、当時、先に立ってやってくれた人が60歳くらいになり、中心になってやってくれる人がいなくなって数年前からなくなってしまい、すごく寂しいような感じがします。当時の人たちがやれるような年齢でもないし、消防の集まりの中で出来たら自分達もやってみたいとの話が出たそうですが、そこを越える何かがなく、そこを集落で押し上げてやれるような手立てがあれば、やれるのではと感じています。

会長；山北では赤カブを作る段階から漬物になるまで体験できるところもあるそうですが、地域独特のものがこの地域にはないと思います。その辺の探り方も一つの方向なのではないかと思います。

委員；自分の集落では各種団体から2名ずつ集まってくださいと区長が呼びかけ、みんなで集まって年間の行事を発表してもらっています。その後、また集まって何をやるかを決めています。みんなで決めるので集まりもいいし、日曜日であればほとんど集まります。

委員；私どもの方も何十年と続いている伝統行事を待ち望んで、よそへ出た人も参加していますし、4月15日の祭りにはよそからも来てくれて盛り上げてくれています。

会長；伝統芸能も一つの地域おこしとまでいかななくても、集落住民の融和を考えると再発見というのも有効なのではと思います。昔からやっていた途中で廃れて今改めてやっているというところはありませんか。

委員；昔は神楽がありました、いつの間にかなくなってしまいました。これでは、集落全体で一生懸命やって来たのに、次の時代に伝えるものがないと悪いということで、20年くらい前にPTAの人たちが先に立って、他の集落に習いにいきました。そして保存会を立ち上げましたが、太鼓など色々準備しなければならないのでお金がかかります。保存会で寄付を募りながら始まりましたが、やるのは中学生以下の子どもたちで、習いにいったのは消防団くらいの人たちです。なかなか子どもたちは毎年変わっていくし、先頭に立ってやってくれる人がなくてそのままずっと当時の人がやっていますが、昔のやってきた人たちが地域に戻ってきて消防に入って、消防の人たちが先に立ってその人たちが役員などをして集落から離れても一生懸命にやっています。

委員；私どもも以前は青年団が大勢いましたので何となくやっていましたが、今の時代は、年々子どもの数も少なくなって大変です。私どもの集落は区長さんが保存会の会長ということでやっていて、隣組から一人ずつ代表者が集まって手伝っています。準備は子どもたちが中心で、集会ところから神社の参道まで雪洞を建てていますが、なかなか人数も少なくなっていますので、これからどうしようかということもあります。

委員；伝統芸能などは、だんだん出来なくなる時が来るでしょう。

会長；中学校区単位で郷育会議がありますが、これなども故郷を愛する子どもたちを育てるにはどうしたらいいかということがテーマですが、そのために色々なことを



やっています。新しいこともやっています。故郷の伝統芸能の掘り起こしも必要なのではという意見も出ております。伝統芸能の掘り起こしも一つの村おこしにつながるのではないかと思います。そこで若い人たちがいないことにはどうしようもないということで、若い人たちが計画の段階から参加してもらい、自分たちはどういうふうに持っていったらよいのかという意見を出してもらって運営していくのも一つの手ではないかと思います。

委員；私どもの集落では昨年から小学生を対象に交通安全のボランティアを進めてきましたが、なんで爺さん婆さんがついてくるのか。煩わしいという話もありまして、歓迎されると思ってやったのですが逆効果でした。勇み足といえば勇み足で、我々の立場から考えれば一人よがりでも何かにもご破算でした。本当に彼らが何を望んでいるのか、あまり出しやばりすぎないでやろうということで今考えているのは、小学校の池さらいです。

委員；伝統行事などを絵とか写真みたいなもので情報提供出来るものがあればいいと思います。この地区の中でも知らない訳ですから。

委員；伝統文化はだんだん廃れてきて爺さん、婆さんのときはやっていたけど私たちの年代になると分からないものもあるし、面倒くさいとか分からないという人たちが一杯います。何とかそれを復活したいという思いがあってJ A女性部の方でも10年前から話が出ていて資料集めなどをしていましたが、なかなかまとめることが出来なくてずっと来ましたが、写真入りでそれは何のためにするのかとか、どういうやり方があるのだとかというのを1冊にまとめて全戸配布したいということで取り組んでいます。

(午後2時40分休憩)

(午後2時45分再開)

会長；先ほど来、企業誘致の話、それから嫁婿対策、伝統芸能の話が出ていますが、まだ集落の現状、例えば困っていることなどがありましたら意見をお願いします。

委員；私の来た頃は消防団が25歳まででしたが、それから30歳になって人数が足りないもので35歳までやっているようです。誰か入ってくれないかと幹部の人は言っています。何人くらいいなければならないとは決まっていないのかもしれないが。

委員；一応1地区で人数の設定はあります。この集落は大きいので15人定員だという感じで15人と言ったら絶対15人集めて、新しい人が入ったら古い人から抜けられるみたいです。

委員；私の集落も苦労しているみたいです。

委員；自分が子どもの頃見ていたイメージだと、消防団の予算を使って飲み歩くみたいな悪いイメージしかない。働いているというよりも悪いイメージでした。その人たちが今、この年代になった時に自分はそんなことしたくないからということで、地域のために頑張るのではなくて、そういうことが好きな人は入るかもしれませんが、少し違った目をしている部分があります。親が入れない場合があり、一生懸命勧誘していますが、親が駄目だと言ったりする場合があります。

- 委員；今の消防の人たちはちゃんと働いています。予算も少なくなって飲み会なども自腹を切っているし、今はどうやってやりくりしようかという感じでやっているの  
で、その辺の実情を若い人たちに写真等でこういう仕事をしていますみたいな  
ものがあればいいのではと思います。
- 会長；人がいなくて絶対数がいなくてどうしようもないという場合は致し方ないのでは  
ないでしょうか。定員に達しないというのは地域としては困りますが。
- 委員；消防予算を一杯貰っているから大丈夫だろうと思って予算を削ったら部長から他  
の集落との比較を出されまして急遽上げましたが、なかなか苦労しているよう  
です。
- 会長；消防団員の出勤はないに越したことがいい訳ですので、予防が一番消防は大事な  
のでそれも頭数が足りなければ同じ人が交代も出来ません。
- 委員；企業によっては、消防に入っていますか入っていませんかと聞くところもあるよ  
うです。
- 会長；それはどういうことですか。
- 委員；休まれては困るということでしょう。
- 委員；会社に居る時に呼び出しが来るのですが、火災なので抜けさせてほしいと言っ  
たのですが、なぜ簡単に抜けるのかと叱られたことがあります。
- 委員；消防は出勤の他に地域性もあるのでしょうか、自分の地域では街灯が切れた時  
に交換したり、冬囲いしたり色々あるみたいです。
- 委員；予算の関係上、自分の集落ではやっていませんが、他の集落ではやっているみた  
いです。
- 委員；集落から消防団に補助金を出しているのですか。
- 委員；自分の集落では、かまど廻りといって一軒一軒まわっているみたいです。
- 委員；今はしていないようです。
- 会長；各家をまわってもらうということは、大切だと思います。特に一人暮らしが増えて  
きていますので、そういう意味からも一人暮らしの方のところに行けるような状況  
にしておいた方がいいと思います。消防だけではなくて弁当の配達など一人暮らし  
対策というのはその辺もあるのではないのでしょうか。
- 委員；ボランティア活動も主要課題だと思います。地域コミュニティというかたちでボ  
ランティアを進めていかなければならないのではと思います。
- 委員；PTAの研究大会に出席して来まして、その中でボランティアについての話し合  
いが分科会で行われましたが、やはりボランティアというだけで募集を募ると出  
席率が悪くてその後にプラスアルファで飲んだり食べたりするのを付けると出席  
率が良くなったりしますが、自腹だと難しいこともありバザーの収益の一部をそ  
こにあてている学校もありました。
- 委員；ボランティアを神林地域として挙げていかなければならないのではないでしょ  
うか。みんなさんからこれだけ出るということはそれだけ関心がある訳ですし、地  
域コミュニティとしても考えていかなければならないと思います。
- 事務局；今ほどの意見等を参考にまとめていくと、企業と結婚の話が大前提でその中で各  
集落においてはみんな考えてはいるが、もうひと押しがなく、もう一歩あれば活

動にも参加ができるとか、集合の機会があれば様々活発な意見も出てくるという  
ような意見もありましたし、伝統行事的なもので言えばJAの女性部の方が本を  
各戸に配布する。あとボランティア活動とか各種団体の活動についても触れてい  
ましたし、お金のことが若干出てきたような気がします。新たなことは必要です  
が、それには経費がかかる。経費がかかるということは負担につながる。それか  
ら消防の方は消防の活動だけではなく一人暮らしの方のためにもなるのではとい  
うこともありまして、まず、新しいことをするには経費が必要になってきます。  
様々な取り組みをやりたいの다가経費がかかってくるということでやり難いとか、  
その他に消防団の人数などもありましたし、そういった集落の基礎的な保全活動  
がどのようになっているかお話いただければ、協働のまちづくりに必要な資源や  
人員などでまとめられると思います。

委 員；塩谷集落では観光面で頑張っているようですが、その活動に関わっている人の話  
ですが、一生懸命自分達でやっていますが、なかなか活動の理解が得られず、何  
とか周りから盛り上げてやれるような、神林地区にはあまり観光というのがない  
ので、もっと協力的に盛り上げて行ければいいのではと思いました。

会 長；私にも経験がありまして平林城跡保存会で全村的に協力して保存会を活発にして  
行こうと言った時に水を差す人がいました。なかなか理解してもらうには難しか  
ったようで結局流れてしまった事業もありました。自分の意見は出してもいいと  
は思いますが、大勢の人がよしとするならば協力しますよというような度量の深  
さも必要なのではないかと思えます。施設の保全ということで事務局から提案が  
ありましたが、消防小屋もそうだと思いますが、行政が関わっている施設の保全  
ということでもいいでしょうか。

事務局；そういうことでもいいですし、農地の保全など人手が足りなくなっている  
とか、どのように困っているのかということですが。

会 長；人手不足ということで農業そのものも危うくなってきているということでありま  
すし、集落の維持活動、例えば山人足などもそうですが、だんだん年を取ってき  
て出てくる人がいなくなります。実際には集落で決めている日当賃金を払わなけ  
ればならなくなり、山作業は金さえあれば出来るというものでもありません。や  
はり人手がないと作業そのものが出来ないのです。

委 員；人を動かすということは経費がかかる訳で、動かさなくても経費がかかります。  
山というのは木を切らなければ収入がないので、その間どのようにして維持して  
いけばいいか、一番困っているのは山林関係者だと思います。収入がないので一  
人、二人と脱退していく人が出て来ています。

会 長；生産森林組合の脱退者は毎年あります。

委 員；この前も話がありました農地・水の話ですが、なんとか継続してもらいたいと思  
います。

事務局；協働のまちづくりのイメージとして農地・水の事業をイメージしています。協働  
のまちづくりを行うには、各集落で行うのであれば様々な団体を取り込んで行っ  
ている訳ですから協働のまちづくりというのは、ああいうイメージで考えていた  
方がいいのかなと思います。実際そうなるとは分かりませんが。

委員；私の集落では国の制度を利用して山仕事を業者と契約しました。人手不足という状況であればそういった制度を利用していくことも必要だと思います。

会長；農地・水の関係のものが協働のまちづくりのイメージとして予定されているとの話でしたが、確かにこの地区の基幹産業が農業なので農業が廃れると共倒れということも危惧されますが、農業以外の人も増えて来ているという現状ですので農家であろうと非農家であろうと自分達の住んでいるところなのだから自分達で守っていかなければならないという意識をみんなが持つということが大切になってくるのではないかと思います。先ほどもありましたボランティアということも地域のことなのだからみんな協力してやらなければならない。みんなの意識を一つに持っていくということが大切だと思います。行政は一つにまとめる手立てを出してやらなければならないのではと考えますが、やはり合併ということでバラバラになりつつあるように感じます。地域のことだけでなく市全体のことを考えなければならないということが先に立ってしまって小さいことが置き去りにされているような感じがしますが、みんなさんどうですか。

委員；前の会議で防災訓練の話が出ていましたが、防災訓練は色々な年代の人がみんな助け合ってやって行こうということをやっていますし、一人暮らし世帯の把握のためにも継続してやっていった方がいいと思います。自主防災組織の立ち上げ状況は分かりますか。

事務局；神林地区では確か21集落くらいかと思います。これから作りたいという集落が2、3あるようです。神林地区では全集落結成してほしいということでお願いしております。防災訓練の話が出ましたが、新市になりまして昨年からは防災訓練ということで消防演習と合わせて行っております。なぜ自主防災組織が必要なのかということですが、先ほど来出ております消防団は日中はほとんど家にいません。日中に何かあった場合に日中いる元消防団の方などにお手伝いをさせていただきたいというのが自主防災組織です。消防団員不足ということもありますが、神林地区は他の地区と比べて団員の平均年齢は若いようです。現在は定員数を確保しております。

会長；今月の21日に市の自主防災セミナーがあるようです。確かに普段でも一人暮らしというところが多い訳ですが、子どもが遠くに勤めているということで日中何かあった時には大変だということですが、その一人で住んでいる人がどのような状況なのかということは、区長さんが把握していることだろうと思います。この地域にどうしてもこれだけは必要だということや、これがあつたら一番いいなと思うようなものがありましたらお願いします。

委員；防災セットがあればいいと思います。

委員；災害防止に徹底してほしいです。

会長；農業の関係で少しお聞きしたい。農業が主幹産業だと言われていますがグリーンツーリズムのようなかたちでの取り組みはどこかで行っていませんか。

委員；特に聞いてはいないので、ないのではないのでしょうか。

会長；グリーンツーリズムに似たようなことを何年前にやったことがあります、農業体験ではなかったのですが。

委員；都会の人たちを呼んでのイベントを2年くらいやりましたが、ただおもてなしをするというだけで受け入れ側が大変です。何を求めているのかとなれば、お互いの交流を深めながら一緒に物事を考えていこうというスタンスは持っていたのですが、なかなか大変でした。これから発展させて行うのであれば農業者だけでなく色々な業種を含めた中で行うのが一番いいのかなと思います。もし出来ればNPOなどを立ち上げて、そこが主導して行うのもいいのかなと思います。

会長；農業は体験してもらうが、それだけではなく観光地などにも足を延ばしてもらうなど一連のものとして村上市を売るとか、農業体験なので米の販路拡大など期待できるが簡単なものではないということは分かりました。

委員；関川村の方でそう言ったことを始めまして、民泊という形で泊めてくれるところを募っているという話はしていました。

事務局；市長は就任当時からそのようなものはやりたいとの意向でしたし、今もそのような考えを持っているようです。市長の考えでは、そこに永住するのではなく、一時的に滞在し農業体験してもらおうというような考えです。

会長；他にないようであれば、次回との関連ですが今日を合わせ1回、2回と委員各位からご意見をいただきましたこれを事務局の方でまとめて頂いて、意見書のたたき台として次回4回目にみなさんに提示できるのではないかとというふうに思います。それを再度みなさんで検討して出来上がったものをこの会の意見書として市長へ提出したいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

#### 4. その他

##### ①第4回の開催日程について

会長；第4回の会議を1月末ころに考えていますが、事務局に一任しますのでよろしくをお願いします。

#### 5. 閉会

会長；長時間に渡りありがとうございました。貴重な意見が沢山出てまいりましたのでこれをまとめて意見書として次回の会議にたたき台としてみなさんに提示できると思います。それを検討いただき出来上がったものを市へ提出することになると思います。今日は大変長時間ありがとうございました。

(閉会 15:50)